

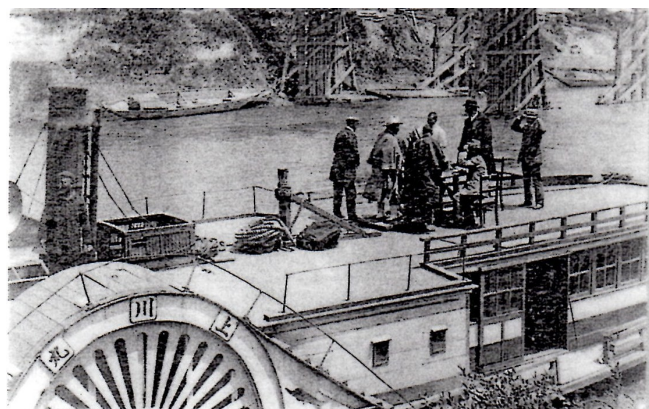
講座 10 石狩における明治・大正期の 輸送の歴史とその時代背景

石狩は開拓期において物流の拠点として重要な役割を担っていたが、鉄道や道路の整備が整うことにより、輸送の拠点としての注目度が低下していった。

しかし、現在石狩湾新港がつくられ国際貿易港として札幌を中心とした道央圏の重要な物流基地として発展している。この講座では石狩の運輸や治水の歴史を産業考古学の立場から講話する。



大友亀太郎座像（創成川河畔）



上川丸

第1回 石狩川舟運・治水事業の歴史的役割と港湾建設・鉄道誘致の計画とねらいとは何か

開講日時／10月1日（火） 10:30～12:00

第2回 石狩開拓においての大友・岡崎による運河はどのような役割をもっていたか

開講日時／10月8日（火） 10:30～12:00

講師／山田 大隆（酪農学園大学教授、北海道産業考古学会会長）

◆ 会場／石狩市花川北コミュニティセンター（石狩市花川北3条2丁目Tel74-6525）

◆ 申込締切／9月17日（火）

◆ 受講料／カレッジ会員 800 円・一般 1,000 円（受講料 2 回分）

◆ 申込み・問合せ／いしかり市民カレッジ運営委員会（石狩市公民館内）

※電話での申し込みは平日（月～金）の 9 時～17 時をお願いします。

TEL/FAX：0133-74-2249

※ホームページ・FAX は土・日でも受付可能です。

いしかり市民カレッジ

検索

※この講座は、学びのスタンプ対象講座、道民カレッジ連携講座です。

